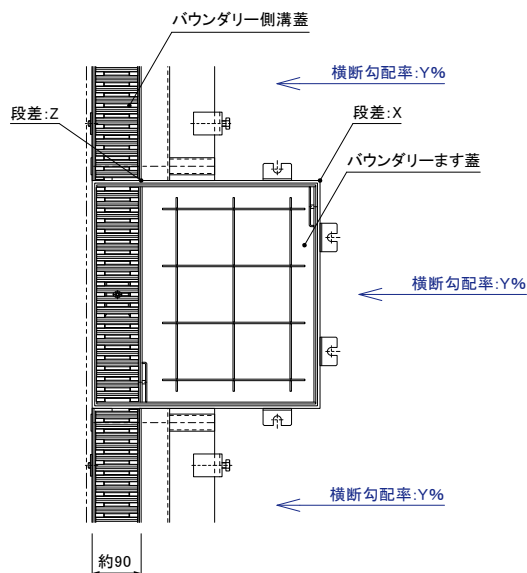
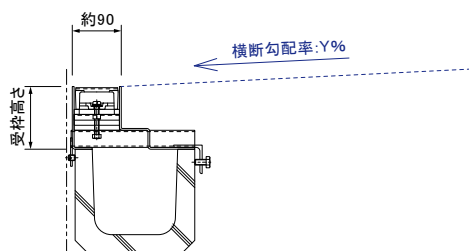


## 路面断面勾配とバウンダリー（スレンダー・ナロー）側溝ます蓋（掃除口）の関係について

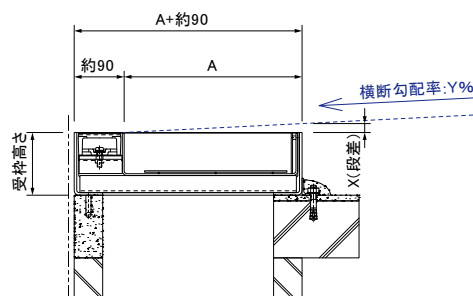
- 1 側溝（敷地境界）に向けて横断勾配（Y%）が付いている場合、側溝蓋を水平に設置するとます蓋には 下図X部またはZ部に段差が生じます。



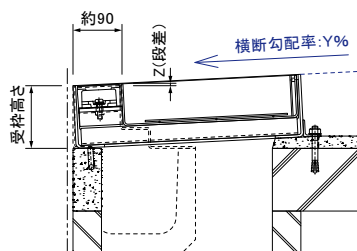
2-1a 側溝蓋は水平に設置



2-1b 側溝蓋、ます蓋共に水平に設置すると、段差: Xが生じますので、充分ご注意ください。 段差:  $X = A \times Y\%$  (mm)



2-2 側溝蓋を水平に設置し、ます蓋を勾配: Y%に合わせて設置すると、側溝枠とます枠に段差: Zが生じます。 段差:  $Z = \text{約} 90 \times Y\%$  (mm)



バウンダリー柵（片寄せタイプ）は、この段差:  $Z \leq 3\text{ mm}$ 程度を目途と考えております。（ $Y = 3\%$ 程度）

- 3 バウンダリー柵（片寄せタイプ）は、3%を超える勾配率の場合（ $Y > 3\%$ ）、下図Aのように化粧蓋を勾配に合わせて製作する事をお薦めいたします。勾配率をご確認ください。  
スレンダー柵（中央タイプ）は、1.5%を超える勾配率の場合（ $Y > 1.5\%$ ）、下図Bのように化粧蓋を勾配に合わせて製作する事をお薦めいたします。勾配率をご確認ください。  
（スレンダー柵は2-2項のように、ます蓋を勾配に合わせて設置できないため、対応する勾配率が変わります。）

